

# 日本疲労学会のプレイベント

## 第一部 三羽邦久先生による講演

### 新しい筋痛性脳脊髄炎の診断基準

一循環器医が関わった新たな出発点

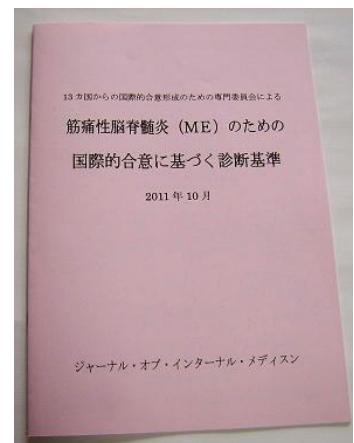
講師：三羽邦久先生（富山県ミワ内科クリニック院長）

日時 2012年6月1日（金） 13:00～14:45

会場 国立スポーツ科学センター（JISS）2階の研修室（100-150名程度）

2011年10月のジャーナル・オブ・インターナル・メディシンに、「筋痛性脳脊髄炎(ME)の国際的合意に基づく診断基準」が発表されました。最新の理解に基づいた診断基準を作成することを目的として組織された、アメリカ・カナダ・イギリスをはじめとする13ヶ国の26人の医師や研究者による国際的合意形成のための専門委員会により作成されました。その中で唯一の日本人の著者である三羽邦久先生をお迎えし、今までの慢性疲労症候群の診断基準からどう発展し、この新しい診断基準が作成されたのか、そのご苦労などをお伺いし、質疑応答の時間もとって頂きます。

新しい診断基準には、先生が特に力を入れて取り組んでいらっしゃる「起立不耐症」も入っており、また、本文にはスモールハートと心拍出量の低下についても言及されています。当会では今年早々には翻訳して、小冊子を作成致しました。



## 第二部 情報交換会

### 日本疲労学会と「慢性疲労症候群をとともに考える会」の情報交換会

日時 2012年6月1日（金） 15:00～16:00

会場 国立スポーツ科学センター（JISS）2階の研修室（100-150名程度）

患者や家族が専門医の方々と理解し合い、共に手を取り合って研究を推進させるために、建設的な話し合いの出来る場を設けさせていただきます。

#### 筋痛性脳脊髄炎 (Myalgic Encephalomyelitis) / 慢性疲労症候群とは

筋痛性脳脊髄炎は、生活が著しく損なわれるほど強い疲労が持続、ないし再発を繰り返し、労作後の神経免疫系の極度の消耗、記憶力／集中力低下、微熱、咽頭痛、筋肉／関節痛、筋力低下、頭痛、睡眠障害などの症状を伴い、通常の日常生活を送れなくなる病気です。世界保健機関の国際疾病分類 (ICD-10) において、神経系疾患と分類されています。寝たきりに近い患者も多く、病歴20年という患者も珍しくありません。国内の患者は30万人いると推定されていますが、診療を行って下さる医師も非常に少なく、地域的に偏っています。

主催 慢性疲労症候群をとともに考える会

参加費無料 どなたでも歓迎

後援 日本疲労学会

申し込み不要

問合先：〒177-0033 練馬区高野台3-11-12 采明ビル 2b アニメ活動センター内

電話：080-4082-6287 ファックス：03-6915-9282 [Email:cfsnon@gmail.com](mailto:cfsnon@gmail.com)

2012年6月1日(金)「三羽邦久先生の講演と情報交換会」の会場地図  
 国立スポーツ科学センター (JISS) 2階の研修室 (100-150名程度)  
 〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1



- 都営地下鉄三田線  
本蓮沼駅下車徒歩 10分
- JR 埼京線・京浜東北線・  
宇都宮線・高崎線 赤羽駅下車  
赤羽駅西口よりバス (約 15分)

(国際興業バス)  
 4番乗場「池袋」行・「日大病院」行き  
 国立西が丘競技場北門下車徒歩 5分  
 5番乗場「トンネル経由 赤羽車庫」行き  
 国立西が丘競技場下車徒歩 3分

**1 Remember Me**  
 アイリメンバミー  
 2000年デビュー映画界(入賞)ドキュメンタリー映画  
 アメリカで患者が100万人  
 認められた病気。慢性疲労症候群の実態を  
 初めて描いた衝撃のドキュメンタリー

慢性疲労症候群(CFS)と闘う人々を描いたアメリカの作品。製作したキム・スナイダー監督は、CFS患者、不可解な病気、CFSと認定されたが有効な治療方法はなく、同じように苦悩する全米各地の患者や医師たちを訪ね歩いた衝撃の記録作。ミスリージに似た発症と発病の歴史、病気に患者に対する社会的偏見の存在、医療の従事者などの態度などを明らかにしながら、患者たちの生き方、治療法を探る医師たちの努力などを紹介した社会性に優れたドキュメンタリー。

キム・スナイダー Kim A. Snyder  
 監督でありプロデューサーのキム・スナイダーは、ニューヨークを中心に活躍するフィルムメーカーで、数多くの非営利の映像プロジェクトに取り組み、社会問題や事件、"Karen From The Holydays" といった映画に、ジョディ・フォスターのアシスタントプロデューサーとして働いていた時に、CFSを発見。本作は「I Remember Me」は、CFSの謎がいかに複雑であるかを世界に知らせるために制作されたドキュメンタリーで、監督、プロデューサー、プレゼンターを務めた。

名も知らず、患者として生きるキム・スナイダー、著名女子サッカー選手ジュリエット・エイクス、映画「タイタニック」を監修した「ヒックマン」などのフレイク・エドワーズ監督。

2000年 米作品 カラー NTSC 4:3 74分  
 ステレオ MPEG2 複製・レンタル禁止

日本語字幕制作 翻訳 磯野三恵子 字幕 有原 誠治  
 DVD製作・販売 慢性疲労症候群(CFS)をともに考える会  
 〒117-0033 東京都練馬区高野台3-11-12 2F アニメ活動センター TEL:03-6915-9281  
 ※このDVDは複製・転載が厳禁です。1枚が各店舗の売場限りです。ご購入ください。

DVD 好評販売中

アメリカで慢性疲労症候群 (CFS) と闘う勇気ある人々を描いた感動のドキュメンタリー映画 (74分) 家庭用 3150円 ライブラリー用 10500円

★ DVD 購入のお問合せは、慢性疲労症候群 (CFS) をともに考える会

〒177-0033 練馬区高野台 3-11-12 采明ビル 2b アニメ活動センター内  
 電話：03-6915-9281  
 ファックス：03-6915-9282  
 Email:cfsnon@gmail.com

<https://sites.google.com/site/cfsnonhome/>

活動資金にご協力を！

私たちは筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) の認知を広げるために、関東地方を中心に上映会や講演会・シンポジウムなどを行っています。こうした活動をこれからも推進するために、皆様からの寄付をお願い致します。また、DVD(1枚3,150円)を購入していただきますと、その売り上げの半分は会の収入になりますので、是非ご購入下さい。皆様のご協力に感謝致します。

慢性疲労症候群 (CFS) をともに考える会

振込先：ゆうちょ銀行 普通(記)10050 (番)5123951 慢性疲労症候群(CFS)をともに考える会